

令和3年度職員自己評価結果報告		よくできた	できた	努力必要
テーマ「笑顔いっぱい、愛いっぱい、楽しい保育、認め合い、話し合い、支え合い、仲間愛をつくっていく」		3	10	1
1	個人の目標達成度	1	8	6
2	クラス目標達成度	1	4	4
3	園内研究の達成度	1	4	6
4	次年度の園内研究内容	1	3	1
5	自己研鑽度	1	8	1
6	発達に即した環境整備の達成度	0	10	4
7	子どもに基本的な生活習慣を身につけさせた	4	10	0
8	子どもに集団生活を通して社会性を身に付けさせた	2	12	0
9	子どもと遊ぶことで心身健やかな成長を手助けした	3	9	1
10	保護者に対して適切な保育のアドバイスをした	0	10	3
11	地域と深くかかわり、貢献した	0	4	8
12	教材研究をし、教材づくりをした	0	9	3
13	月案等を計画、実行、反省し、次に活かした	0	9	4
14	施設内外を整理、整頓し、清潔に保ち、安全に暮らせる状態を保った	2	9	2
15	子どもの自立心、社会性、感性を育てた	1	10	1
16	子どもの健康に気を配り、小さな変化も見逃さなかった	2	10	1
17	子どもとの信頼関係を築いた	5	8	0
18	保護者との信頼関係を築いた	0	8	5
19	期日までに提出物を出せた	1	10	2
20	職員間でのコミュニケーションをとることができた	1	12	0
21	心身共に健康な子ども（保育目標）	4	11	0
22	友達を大切にし、協力できる子ども（保育目標）	4	10	1
23	意思表示できる子ども（保育目標）	6	8	1
24	自然や命の尊さを知り、大切にする子ども（保育目標）	2	12	0
		45	218	55

よくできた 45 できた 218 努力必要 55

黄色の部分が必要とあったので、反省を活かして来年度は改善していく 11及び15は、コロナ禍で交流することが難しかった。

行事に関して

- ・コロナ禍で子ども達にたくさんの我慢をさせてきました。その限られた中で職員達の発想、あそびを考えてくれる点が、子ども達の成長につながっていると思う。
- ・コロナの状況で、先生たちは創意工夫して、子ども達も楽しめたと思う
- ・行事についてはみんなで取り組むことがあった方がいいです。
- ・各クラスでの取り組みがほとんどであったが、取り組みとしては活動しやすかった

- ・自分なりに不得意な部分も子ども達と計画してやる事で、色々と気づきがあり、とても学びとなった
- ・各クラス、それぞれ工夫して取り組んだと思いますが、その様子が見えなかったのがコロナに配慮しながらも見せあうことをしたり、保護者に配信（ライブ）などできたらよかったのではないかと思う。
- ・3～4歳児は運動会、発表会を意識し、日頃の保育の中に取り入れ、園内での発表をすることにより、子ども達の成功体験を育むことができたと思う。2歳未満児は、日々の保育の中であそび、生活面の発達を十分に促すことができたと感じる
- ・子ども達の姿から、大好きなだるまさんシリーズで表現あそびをすることができたこと、その中で友達との関わりがふえていることがみれたり、きづけたりしてよかったと思う。もっと早い段階から取り組み、見通しをもってできたら、よかったと反省もある。
- ・1歳児で運動遊びでは、1人1人の四肢の発達を促すよう気を付けて、取り組んでいくことができた。ごっこ遊びでは、クラスみんなで遊ぶ姿がのびのびと楽しみ、子ども達の笑顔で遊ぶ姿が見られ良かった。
- ・体育的なあそびはできなかったが、表現あそびやエイサーなど子ども達の様子から取り組めることができよかった。
- ・コロナ禍の自粛、休園により、やりかけた事が中断したり、残念な思いも度々あったが、前向きにとらえ取り組めたのはよかったと思う
- ・今年は子ども達が保育園でじっくりあそびこめたように思えます。今までの行事という枠組を外し、園内で無理なくできるような形（日常の保育の1つとしての見せ場を作る）を作り上げられたらよいと思う。
- ・コロナ禍で就職したので、コロナ前の事（行事）があまりわからず、バザーやクッキングをしたいなと思った。
/みんなに支えてもらいながら、助けてもらい、楽しく保育できたと思う